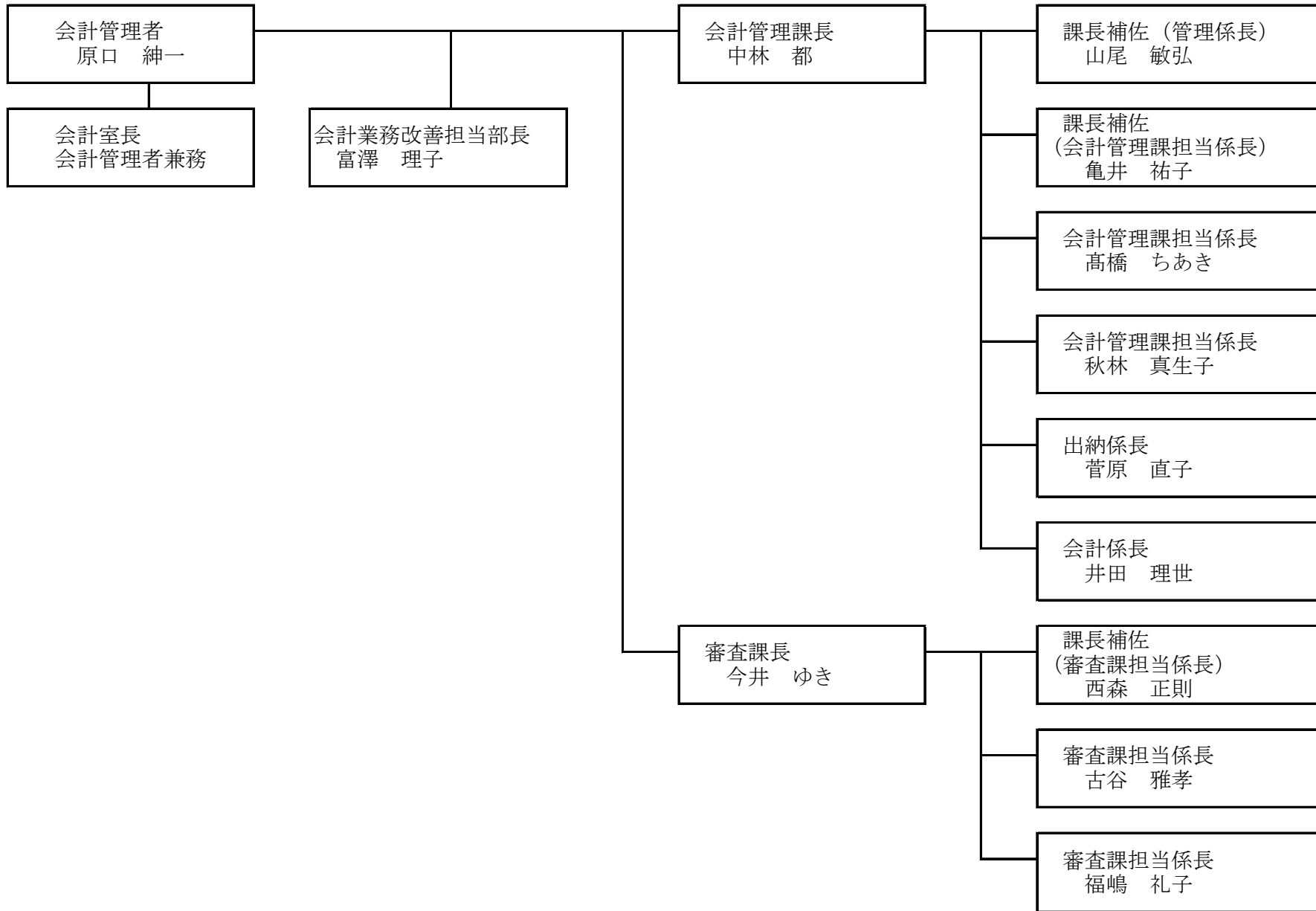


機構及び事務分掌

令和8年5月

会 計 室

会計室機構図(令和8年5月19日現在)



会計室事務分掌

会計管理課

- (1) 指定金融機関、指定代理金融機関及び収納代理金融機関に関すること。
- (2) 現金(現金に代えて納付される証券及び基金に属する現金を含む。)の出納及び保管に関すること。
- (3) 小切手の振出しに関すること。
- (4) 現金の記録管理に関すること。
- (5) 支払資金等の調整に関すること。
- (6) 有価証券(公有財産又は基金に属するものを含む。以下同じ。)の出納及び保管に関すること。
- (7) 証書類の整理及び保管に関すること。
- (8) 決算の調製に関すること。
- (9) 物品の出納及び保管(使用中の物品に係る保管を除く。以下同じ。)に関すること。
- (10) 財産の記録管理に関すること。
- (11) 会計事務の改善に関すること。
- (12) 室の危機管理に関すること。
- (13) 室の庶務に関すること。
- (14) 他の課の主管に属しないこと。

審査課

- (1) 電子請求システムに関すること。
- (2) 支出負担行為の確認に関すること。
- (3) 会計事務の検査及び指導に関すること。

令和8年度

予 算 説 明 書

会 計 室

目 次

	ページ
令和8年度 一般会計歳入予算説明 -----	1
令和8年度 一般会計歳出予算説明 -----	2
債 務 負 担 行 為 -----	3

令和8年度 一般会計歳入予算説明

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差引増△減	説 明	説明書 対照頁
24款 諸 収 入	千円 275,958	千円 271,693	千円 4,265		62
2項 市 預 金 利 子	52,000	19,100	32,900		〃
1目 市預金利子	52,000	19,100	32,900		〃
1節 預金利子	52,000	19,100	32,900		〃
7項 雑 入	223,958	252,593	△ 28,635		66
1目 総 務 費 雑 入	223,802	252,526	△ 28,724		〃
23節 共通物品振替収入	212,248	227,238	△ 14,990		68
24節 電子請求システム事務収入	11,554	25,288	△ 13,734	企業会計負担分	〃
17目 雑 入	156	67	89		77
2節 社会保険料納付金	156	67	89	会計年度任用職員 の社会保険料 本人負担分	〃
歳 入 合 計	275,958	271,693	4,265		

令和8年度 一般会計歳出予算説明

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差引増△減	説 明	説明書 対照頁
2 款 総務費	千円 2,670,943	千円 2,711,969	千円 △ 41,026		88
11 項 会計管理費	2,670,943	2,711,969	△ 41,026		102
1 目 会計管理費	2,670,943	2,711,969	△ 41,026	公金取扱経費 1,300,558千円 職員人件費 852,698千円 共通物品事業費 212,628千円 収納データ作成経費 193,216千円 電子請求システム運用事業 66,005千円 会計事務費 45,838千円	〃
歳 出 合 計	2,670,943	2,711,969	△ 41,026		

令和8年度 債務負担行為

新たに債務負担行為をするもの

事 項	期 間	限 度 額	議案書 対照頁
予算・財務情報管理システム等に係るライセンス提供業務委託契約	令和9年度から 令和11年度まで	限 度 額 630,000千円 (うち会計室分 59,697千円)	11

I 基本目標

令和8年度は、現在策定を進めている、「市民の実感」を最上位目標とした、「横浜市中期計画2026-2029」※1の初年度です。
市民の皆様の暮らしの意識や状態を定期的に把握、検証しながら適正な会計業務の取組を推進することにより、「市民生活の安心・安全×横浜の持続的な成長・発展」、そして、「明日をひらく都市」の実現につなげます。

会計室では、中期計画※1を踏まえ、適正な会計業務の取組を推進します。

適正な会計業務を着実に遂行するとともに、
会計経理を担う人材を育成し、区局の会計事務を
支えることで、横浜市政に対する市民・社会から
の信頼に応えます。

令和8年度 会計室 運営方針

Ⅱ 目標達成に向けた施策

1 会計業務の品質の維持・確保及び効率化の推進

- ・公金収納から公金管理、支払審査、決算調製にわたる会計・経理事務を適正・確実にを行います。
- ・デジタル技術の活用等による業務効率化や事務簡素化に取り組み、会計事務を改善します。
- ・これまで把握してきた課題を踏まえ、将来にわたって会計業務の品質を維持・確保するため、全体最適化を円滑に進めます。

2 市民・社会の要請や信頼に応えるための環境整備

- ・情報発信や相談対応を通じて、適正な会計事務が全庁において確実に行われるよう支援します。
- ・内部統制(Yモニ)やリスクマネジメントに取り組み、適正な業務執行を進めます。
- ・市民の利便性向上と、本市及び金融機関における事務の効率化の進展を踏まえ、デジタル化を推進します。

3 次世代を担う会計経理人材の育成

- ・会計経理を担う職員のスキルアップを図ります。
- ・研修を通じて、区局の会計経理実務を担う人材を育成します。

Ⅲ 目標達成に向けた組織運営

1 チームワーク・組織力の向上

- ・課を超えた業務応援・連携強化により、風通しの良い職場づくりを行います。
- ・職員が自発的に課題解決に取り組める風土を醸成し、会計室全体で業務を推進します。

2 働きやすい職場づくり

- ・お互いに協力し合い、助け合うことで、長時間勤務の是正と休暇を取りやすい環境づくりを進めます。
- ・すべての職員が、それぞれのライフステージに応じたワークライフバランスがとれる働きやすい職場をつくりまします。

3 会計室職員の育成

- ・知識やノウハウを継承し、高度な専門的知識が求められる会計室職員としてスキルアップを図ります。
- ・キャリア形成を前向きに考える育成に取り組みます。

Ⅳ 横浜グリーンエクスポの成功に向けた機運醸成の取組

指定金融機関や指定都市会計管理者会議等を通じて来場意欲の喚起に取り組みます。